

Trial Run :

semi-works for the multimedia stage

Trial Runの枠組み / The frame work of "Trial Run"

この事業は、山口情報芸術センター(YCAM)のプレイベントのひとつとして企画されたもので、世界的にも高い評価を受けているパフォーマンスグループ「ダムタイプ」のメンバーである藤本隆行氏が、山口在住アーティストと一緒に映像や音響制作も含めたステージ作品を作ってみようという企画です。

[semi-works]とは新製品、新製法などの試験[実験]工場の意味であり、完成した作品を作り上げようというのではなく、あくまでも未来の作品の可能性を探っていく試みです。

Studio UZU Performance "エヌ"

A study of Perception and Consciousness to create multimedia performance.

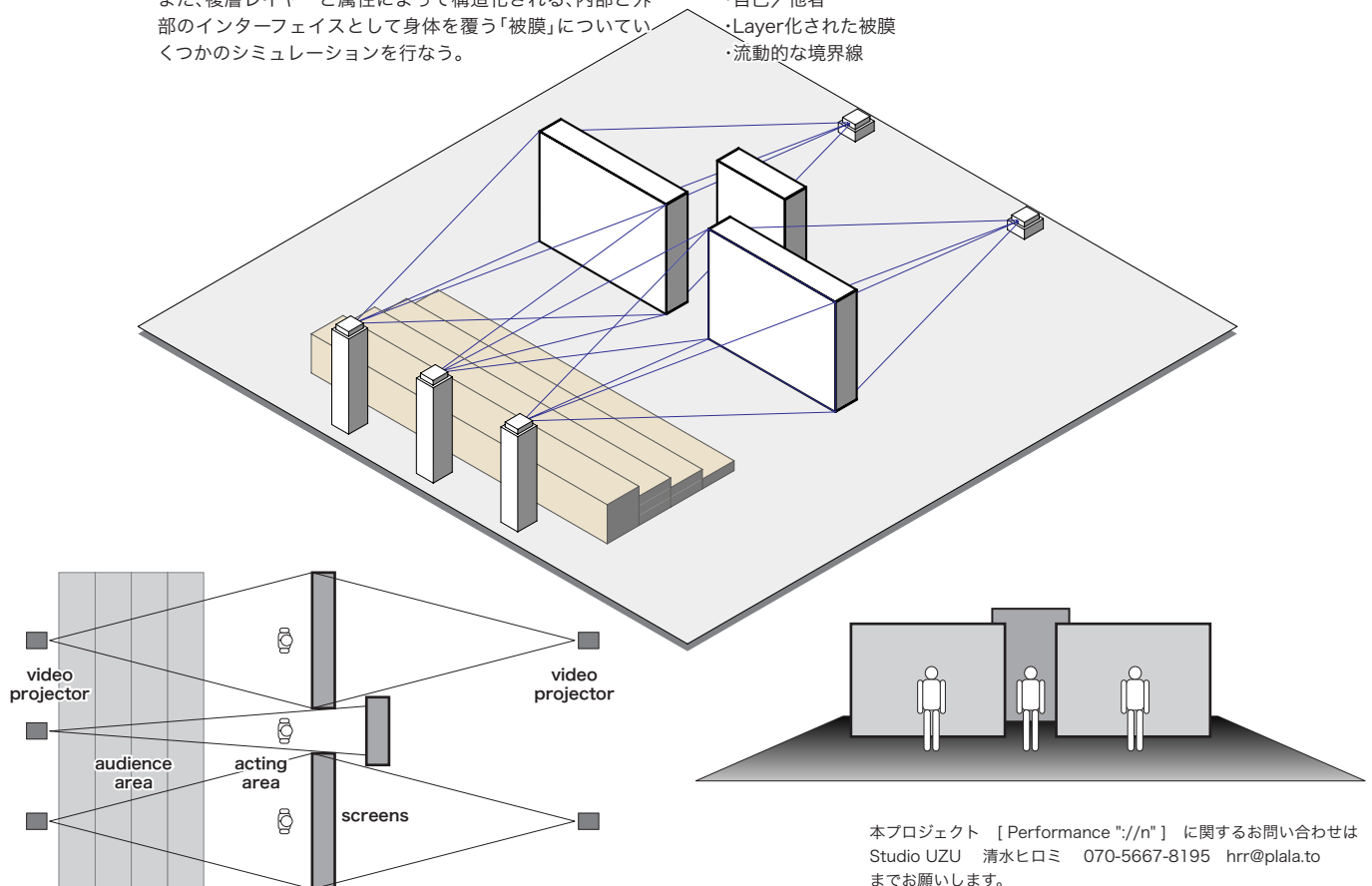
コンセプトワーク / Cocept work

身体性
知覚／意識
被膜

他のものに変換されない生身の身体に着目し、それを「デジタル」というくくりで表現される映像／音響空間の中に並置することによって、人間の知覚／意識に関する考察を行なう。
また、複層レイヤーと属性によって構造化される、内部と外部のインターフェイスとして身体を覆う「被膜」についていくつかのシミュレーションを行なう。

次のステップへのStudyとして、あえて焦点を定めずに様々なキーワードの羅列を試みる。ここでのキーワードは、例えば以下のようなものを考えている。

- ・考える身体
- ・知覚／意識
- ・内部／外部
- ・可視／不可視
- ・自己／他者
- ・Layer化された被膜
- ・流動的な境界線



本プロジェクト [Performance "エヌ"] に関するお問い合わせは
Studio UZU 清水ヒロミ 070-5667-8195 hrr@plala.to
までお願いします。

Trial Run_制作・発表 [2003年4月1日(火)~11日(金)]

Creation : 4月1日(火)~10日(木) / **Test run :** 4月11日(金)

@ 山口市民会館小ホール + Trial studio

主催 山口情報芸術センター開館準備室
協力 ACT INNOCENT
監修 藤本隆行(dumb type テクニカルディレクター)